

関川の学習会
牟礼東小5年生

十月二十一日に牟礼東小と牟礼西小学校5年生の課外授業で「関川を下り、海まで行こう」という授業がありました。感想文をいただきましたので、一部を抜粋して紹介します。

○最初にいった苗名滝（上流）でまずわかったのは、岩が大きいし、ごつごつしています。川の中から拾った石は丸まっています。次に分かった事は、川の中には小さい石があまりないことに気がつきました。滝の近くには、ものすごく大きい岩がたくさんありました。妙高市の河川敷（中流）では、川の中に入ってみて、端の方で石を流してみるとすぐに流れてしまいました。それで分かった事は真ん中に行くともっと流れが速くなること、が分かりました。ボールを流してみると7秒くらいでした。そんなに早いと思



上流で川の流れを調べました

ませんでした。船見公園（下流）で波を舐めてみたら、しよっぱくなかったです。なぜ海がすぐ側にあるのにしよっぱくなかったんだらう。そして海に行きました。海の波はとっても強かったです。長靴の中に水が入ってしまいました。今日の見学で分かった事は、上流・中流の流れが早い事が分かりました。あと下流の水がしよっぱくないことが分かりました。しっかりと勉強できてよかったです。今日はありがとうございました。

小日向 零史

○十月二十一日の東小と西小で関川をたどって海まで行くのに一緒に行ってもらいありがとうございました。上流は苗名滝から始まって、先生が教えてくれたことは、大雨になって川の中にあつた巨大な岩は私たちのいたところ辺りから川の流れの力で運ばれたことでした。川の力はすごいなと思いました。実験もしました。実験で分かった事は、上流は10mを約7秒で流れること、です。とてもおもしろ

ろかったです。次に中流へ行きました。中流は上流と違って岩がなく、石が少しあるだけでした。あともう一つ流れが上流より少し緩やかになっていました。ここで私は中流はもっと岩や石があつて、流れが急かと思つていたら逆でした。自分たちが長靴でそんな川に入れるとは思っていませんでした。中流は全体的に予想外のことが多くて、上流よりおもしろかったです。次に下流に行きました。下流は、ほぼ海と一緒に流れました。波もあつたので、入りたくなりました。でも中には汚れやゴミ、土や砂が多くて汚かったです。石や岩はもうなくて、砂になっていておもしろかったです。他と違うところは、岩や石がなく、川幅が広い事でした。次は待ちに待った海です！私は今年海に行けなかったのも嬉しかったです。波が来る時に濡れそうになるけど、ぎりぎりまで待つて波を追いかけようとして遊びました。一番楽しかったです。先生のおかげで川のことがよく分かりました。

原田 葉那

あみぬの編布（アングイン）の指導者講習

飯綱町歴史ふれあい館では、縄文の布づくりを学習会でやりたいとのことで、野尻湖へ研修に来られました。講師は、アオソの織維づくりから取り組んでいる長谷川悦子さんに来ていただきました。

今年はアングインが静かなブームで、当博物館に専門技術を勉強に来られたり、実習用の道具を貸し出したという機会が増えています。

おわびと訂正

以前の「博物館のページ」でお名前間違いましたので、訂正させていただきます（敬称略）。間違えた方にはたいへん申し訳ありませんでした。

広報10月号 P25 太字が間違っていた箇所
（正）高遠ももね、高橋知大
広報11月号 P21
（正）神農鯉太郎、池田一叶

日本考古学協会長野大会の見学会

10月19～20日に長野市で全国の考古学研究者があつまる学会がおこなわれました。2日間で919人が参加したとのことです。シンポジウムの発表では、野尻湖周辺の日向林B遺跡や貫ノ木遺跡の黒曜石や刃先だけを磨いた石斧の石材のうごきが話題になっていました。また、野尻湖周辺には約2万～1.5万年前の槍先を多くもつ文化の人たちがいましたが、このあたりのタイプの石器が群馬県など関東北部にも多く行っていて、当時の人たちが野尻湖方面と関東北部を常に行き来するような社会があつたのではないか、という議論もありました。

21日には、シンポで話し合われた野尻湖遺跡群と博物館を見るための見学会が行われました。九州、四国や東北からの参加者があり、後から来た人も含め17名でした。



日向林B遺跡の見学説明をしているのが、調査担当をされた県埋文センターの谷和隆さん（高速道の橋上）



考古学協会の博物館見学博物館では考古学の専門家にもナウマンゾウが人気

博物館のページ



野尻湖 ナウマンゾウ博物館

貝化石採集会
ついでに化石が採集できちゃった。
10月26日

毎年恒例の貝化石の学習会を長野市戸隠にいって行いました。参加者は17名。台風の接近に伴ってお天気が心配されましたが、ちょうど貝化石をとりに行く時間帯だけは晴れ、紅葉の美しい景色の中、たくさんの化石を採取することができました。

○たくさんあつても見つけるのはとても難しいなあと感



化石のクリーニング



戸隠地質化石博物館を見学しました

○展示がうまくて、とてもわかりやすかったです。来年はたくさんやつてほしい。今日はそんなに化石は見つからなくて悲しいです。でもいいところでした。東京都赤松小学校3年 安部 啓太

○小さい化石しか見つけられないと思つたけど、大きい化石も見つけられたのでよかったです。信濃小中学校2年 保田 湛友人

じました。採集の時間もう少しあるとよかったです。博物館の3階がとても立派でわかりやすく見やすい。すごい発見をするのは簡単ではなく、地道な作業…。是非また参加したいです。東京都大田区 安部 弘子

○貝の化石をとりました。かなづちで石をたくさんたたきました。愛知県暁星幼稚園 杉浦 嗣門

○化石掘りをやって色々昔のことが知れてよかったです。見たところただの石だけど、よく見たら化石でした。とても楽しかったです。また6年生になったらやりたいです。信濃小中学校5年 駒村 瞭

○今日は初めて化石とりにやって楽しかったです。また来たいです。愛知県暁星幼稚園 杉浦 杏佳

○化石採集、そしてクリーニングは初めての経験でしたが、とてもおもしろかったです。貝の化石を目にして、あらためてこの辺りは海だったんだなあと不思議な気がしました。ありがとうございます。信濃小中学校3年 小黒 宏野

○戸隠や信濃町が昔は海だったことに驚きました。息子と一緒に貝の化石を採集できて良かったです。信濃小中学校3年 水口 陽翔

野尻湖にナウマンゾウがいっぱい楽しかった野尻湖ウオーク 11月4日



ナウマンゾウのモニュメントにはそれぞれの物語りがあります



このような網で魚をとります

11月4日、野尻湖と親しむプロジェクト、環境省戸隠自然保護官事務所、野尻湖ナウマンゾウ博物館が共催で、野尻湖ウオークが開催されました。参加者は33名で、野尻湖畔にあるナウマンゾウのモニュメントをさがして、クイズを解きながら野尻湖の歴史や自然について学びました。お昼は野尻湖プロジェクトのみなさんが用意していただいたバーベキューを楽しみました。

○家から一時間ほどの所で、こんなに沢山はつきりとした化石が採れるのには驚きました。私も夢中になってしまいました。他の

○今日化石の体験をして、化石を探してクリーニングするとき「あつ」という声が出たり、化石を掘るときに少し化石がとれちゃったりしました。信濃小中学校4年 水口 美枝



慎重に化石をとり出しました